

# 19 心のよりどころだったSNS上の知人による誘い出し

ネットで出会った相談相手に会いに行き



そのまま連絡がつかなくなってしまった



※ DMは「ダイレクトメッセージ」。SNSの画面上ではなく、直接メッセージをやりとりすること。

辛いことが続き、SNSにつぶやいていたWさん。  
**気持ちが落ち着くメッセージをくれる人に出会い、**  
 DMでやりとりするうちに、会いに行くことになりました。

出かけたきり家に帰ってこなくなり、警察に相談。  
 誰にも言わずに会いに行ったことは、**WさんのSNSの記録を確認して初めてわかったのです。**

## 考えてみよう！

ネットだけの交流では、**顔、姿、気持ち、メッセージ、どれも本物かどうかわかりません。**  
**それなのになぜ、ネットで知り合った人を信じたり頼りにしたりしてしまうのでしょうか？**

### A.本当は誰に聞いてほしい？

- 気持ちを察してくれる友人
- じっくり話を聞いてくれる家族
- 何でも相談したいと思える先生がいてもネットで相談しますか？身近な誰かに寄りかかりたいと思う気持ちを失わないで！

### B.知らない人のほうが便利？

自分を直接知っている人と、ネットだけでやり取りしている人。優しい言葉をかけられて嬉しいのはどっち？ネットなら余計な詮索をされずに済み、都合がいいだけではありませんか？

### C.どうしてもSNSを使うなら

本当に親身になってくれる人もいますが、上辺だけの人も山ほど。どうしてもSNSに頼りたいのなら、「深入りはしない」「DMを警戒し、個人的なやり取りはしない」を徹底しましょう。

## 解説

## 成長過程で生じる不安定さとリスク志向が利用される危険

多くの子供がSNSを活用し始めるのが、仲間との関係が大事で、かつ、悩みもモヤモヤすることも多い思春期の頃。感情の行き違いはしばしば起こり、辛さやイラ立ちなど、**リアルな生活で受けた精神的ダメージをネットにぶつけることで自分の気持ちをコントロールしようとする子も少なくありません。**

でも、**そんな心理状態や判断の甘さを知って、近づいてくる危険な大人もいます。**ネットの向こう側のいい人が悪い人かもしれないことを知りつつ、リスクよりもそのときの感情を優先させてしまう時期。**ネットで知り合った人に深入りしないよう「ここまで！」の限界を話し合い、意識して使うことの安全性を理解させましょう。**

## ワンポイントアドバイス

ネットの向こう側に救いを求めたがる時期。子供の言葉に耳を傾け、気持ちに寄り添い、相談できる関係を保つことが最善の予防策です。